

第349回 昭和の森自然観察会

今日から始めよう！バードウォッチング

木下順次（千葉市）

日 時： 2021年1月10日（日）10時～12時

天 候： 晴

参 加 者： 大人27名 子ども1名 計28名 指導員7名 他1名

担 当 指 導 員： 木下、坂本、和仁（他：梅宮、須田、玉川、山下）

年明け早々の7日金曜日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、菅内閣による緊急事態宣言が行われました。首都圏1都3県への発令を受け、昨年4月の時のような緊張はなかったものの前回とは感染者数が桁違いに多いため、慎重な行動が求められます。千葉市の主催する観察会（大草谷津田いきものの里自然観察会など）は中止の報が届く中、昭和の森自然観察会は予定通り開催すること。参加者の集まり具合はどうかなど心配しましたが、当日は天気もよく、募集人数の倍近い参加者を迎えることになりました。検温やや望遠鏡共有時の透明アクリル板の配布など行つたのち、3班に分かれて観察会開始です。



■太陽の広場から市町村の森の脇を通りながら梅林へ

ヒヨドリ、ツグミ、ハクセキレイ、ムクドリなど開けた場所でよくみられる街中でもおなじみの野鳥を観察しながら進みます。今回はモズがあちらこちらでよく見られ、ウグイスの地鳴きのマネをしたり、梅の木でしばらくじつとして皆の観察の時間を作ってくれたりと楽しませてくれました。

■四季の道を下って下夕田池まで



四季の道ではがらりと環境が変わり、静かな針広混交した林内でシジュウカラやウグイス、コゲラ、メジロなどの小鳥が枝葉の間を忙しく飛び回っていました。ルリビタキの鳴き声を確認したのち一瞬姿を見られたのはラッキーでした。水辺では“モンタ”的出迎えを受けた後、しばらくカモ類の観察です。早朝の冷え込みで凍った水面をペタペタ歩くマガモやコガモ、オオバンはユーモラスで珍しい風景でした。

■花菖蒲園から最初の第2駐車場へ

あつという間の2時間で、ヤマガラやアオジの声を聴きつつも最後は急ぎ足で戻ってきました。後でほかの班と鳥合わせをすると他にも、カワセミやトラツグミなどが観察できていたようで、参加者の皆さんには申し訳なかったと反省しています。



《本日観察した野鳥》

キジ、オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、ハイタカ属 sp.、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、トラツグミ、アカハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジ、コジュケイ（外来種）、オオハクチョウ（飼い鳥）

計32種プラス2種